



校長通信

No.16 令和2年11月6日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

《無事、修学旅行に行ってきた》

10月26日（月）～27日（火）、3年生が紀南方面に修学旅行に行ってきた。2日間ともお天気にたいへん恵まれ、楽しく、有意義な旅行となりました。

初日は、アドベンチャーワールドで、パンダをはじめ、ゾウ、キリン、サイなどの大型草食動物とトラ、ライオンなどの肉食動物を、開放的で自然に近い状態で観察することができました。他にも、イルカやアシカなどの海洋動物や鳥なども間近で楽しむことができました。

生徒は、グループ別で、とても楽しそうに活動していました。その姿を見て、行先や日程を変更しての旅行でしたが、なんとか修学旅行を実施することができてよかったと改めて実感しました。また、その時、プライベートな話になりますが、今は成人した娘たちがまだ幼かった頃、家族でこの地を訪れたことを思い出し、少しノスタルジックな気分になりました。そのような二つの感情が重なり、密かに一人、胸が熱くなっていました。



2日目は、ふるさと体験学習でした。串本町大島にある、トルコ記念館で、1890年に起こったエルトゥールル号遭難事故に関する資料を見学したり、トルコ軍艦遭難慰霊碑や檜野崎灯台で、現地の語りべさんから、地元で語り継がれる遭難時の様子や、島民が懸命に救助活動を行ったことなどの話を聞かせていただきました。生徒はみな真剣に聞いていました。

選択体験では、橋杭岩海岸でのシーカヤック、古座川でのカヌー、串本海中公園でのインドア体験の3つから、興味あるものを一つ選び、体験しました。どの体験コースも、和歌山の自然を満喫することができて、生徒からは好評でした。宿舎でも、大きなトラブルがなく、集合時間や就寝時間も守って、快適な旅行となりました。

今回の旅行で学び、経験した和歌山の自然、歴史、文化を今後の学習にも生かしてほしいと思います。先日、理科の授業で、人間の髪質と気温の関係について学んでいましたが、アドベンチャーワールドのサルの毛質を思い出させながら学習活動を行っていました。コロナの影響で、和歌山市の小学校も紀南地方に1泊で修学旅行に行っていますが、小学校との大きな違いは、和歌山の良さを、より高度な知識・技能で体感し、事後の学習につなげていけるところだと思います。

和歌山は、他の地域にない自然や、歴史、文化の宝庫です。もし、機会があれば、ご家族でも和歌山のそういったところを訪れていただきたいと思います。因みに、わたしは、文化の日、家族で高野山に行ってきた。木々の紅葉が、寺社の建物に映えて、とてもきれいでした。

